

第33回久米島町体協職域フットサル大会

今大会は一般8チーム、学生4チーム計12チームを4グループに分け予選を行いました。各グループ上位1位と2位が決勝トーナメントに進出するため、予選から攻防の切り替えが激しい対戦が続く大会となりました。決勝戦は予選で引き分けとなった、1位アーセバムと2位抵抗軍の決戦となりました。試合は序盤に、今大会スピードとスタミナのある抵抗軍（高校生）がアーセバムに2点差をつけ試合を優位に進めていましたが、過去に何度も優勝経験のあるアーセバムが冷静な試合運びで、試合終盤に3連続得点で逆転し、4大会ぶりの優勝となりました。また、今大会の予選と決勝リーグとの間に小学生同士の対戦や小学生対中学生の対戦も3試合行われ、児童、生徒の普段の練習の発揮の場となり、大いに盛り上がりました。



優勝 アーセバム
(一般サッカー部)



準優勝 抵抗軍
(高校生)

3位 サンディーズ (小学校教員)

4位 久米島チャンプルーズ
(中高校教員)

最優秀選手賞

稲井優太 (抵抗軍) 4得点

敢闘賞

安里宙知 (アーセバム) GK

第18回久米島町ふれあい駅伝大会

【総合】

1位	仲 泊	1時間32分57秒
2位	仲 里 西	1時間36分09秒
3位	なかさと東	1時間36分18秒

【区間賞】

1区	濱元 奏人	9区	畠山 里志
2区	国吉 愛瑠	10区	豊里 あん
3区	遠藤 蒼大	11区	仲与志 悠愛
4区	江洲 桃	12区	新里 末光
5区	日名内 直貴	13区	鷺足 恭子
6区	矢野 智昭	14区	宮里 洸
7区	有田 洋一	15区	保久村 凜也
8区	玉城 貴史	16区	上村 天将
		17区	山城 盛功



優勝 仲 泊

12月15日(日)、久米島町ふれあい駅伝大会が開催され、今年は区間賞を6区間取りました、「仲泊」が総合優勝となりました。なお、「仲泊」は前回(平成30年大会)は12位(最下位タイム1時間42分11秒)からの躍進劇でした。

	労災保険給付	特別遺族給付金	救済給付
支給対象	①沖縄復帰後に米軍関連施設で働いていたことが原因で石綿による疾病を発症 ②上記の遺族の方	米軍関連施設で働いたことが原因で石綿による疾病を発症した方の遺族で、本人が亡くなってから一定期間が経過した方	①石綿による健康被害を受けた方 ②上記の遺族の方
給付内容	①本人 ・療養補償給付 ・休業補償給付 ②遺族の方 ・遺族補償給付	1年あたり240万円の年金または1200万円の一時的金	①本人 ・医療費 ・療養手当 ②遺族の方 ・特別遺族弔慰金
請求期限	遺族補償給付の請求権は5年まで	令和4年3月27日	対象疾病等による

那覇労働基準監督署

0868-8040

お問合せ

中皮腫、石綿肺、肺がん、良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚

対象疾病

を受けられる可能性があります。

被る救済制度に基づく補償または救済を受けられる可能性があります。

内容

沖縄米軍関連施設での仕事中に石綿にさらされたような疾病にかかった場合、労災保険制度または石綿健康被害救済制度に基づく補償または救済を受けられる可能性があります。

アスベスト
石綿被害の補償について